

①「BIM&IDDS 国際セミナー」の
開催について

②建築・住宅地震防災ネットワーク
(IPRED)会合について

(問合わせ)

①企画部 左海 冬彦

Tel 029-879-0631

E-mail f-sakai@kenken.go.jp

②国際地震工学センター 横井 俊明

Tel 029-864-6648

E-mail tyokoi@kenken.go.jp

「BIM&IDDS 国際セミナー」の開催について

(独)建物研究所と(一社)日本建設業連合会は、本年11月1日(金)、海外の建築分野の研究機関の幹部の方々にも、ご参加いただき、BIM(Building Information Modeling)と海外で近年提唱されているIDDS(Integrated Design and Delivery Solutions)をテーマとした国際セミナーを、下記のとおり開催します。

BIMは、建築生産プロセスを通じて、品質や生産性を高める新しい手段として、建設業界で、実践と応用がはじまりつつあります。建築研究所においても、「建築物の技術基準への適合確認における電子申請等の技術に関する研究」をスタートさせています。

BIMとIDDSは、重なるところが多い概念です。海外と日本の目指す技術開発の方向性や課題、さらに背景について、共通点と相違点を確認し、意見交換の機会をもつことは、有意義だと考えられます。

建築分野のBIMやIDDSの最新の動向に関心を持つ方は、どなたでも参加いただけますので、ぜひ、ご参加ください。

記

- | | | |
|------------|--|---|
| 1. 日時 | 2013年11月1日(金) 開場 9:30 イベント 10:00-16:30 | |
| 2. 場所 | すまい・るホール(予定)
文京区後楽 1-4-10 住宅金融支援機構 1F | |
| 3. 主催者 | 主催 (独)建築研究所 共催 (一社)日本建設業連合会 | |
| 4. 参加申込み方法 | 参加申込方法は、後日、あらためて記者発表するとともにホームページ掲載とし、先着順の受付とします。
参加費は有料となります。 | |
| 5. プログラム概要 | 9:30 | 開場 |
| | 10:00 | 開会
CIBの優先研究テーマ IDDS の説明
海外における技術動向の紹介
ゼネコンの取り組み事例の紹介
ハウスメーカーの取り組み事例の紹介
建築研究所の技術開発の紹介 |
| | 16:30 | 閉会 |
| 6. その他 | 同時通訳付。 | |

(内容の問合せ先)
独立行政法人 建築研究所
所属 企画部・建築生産G 左海(さかい)、武藤
電話 029-879-0631(左海) 029- 864-6658(武藤)
E-mail bri@kenken.go.jp

参考資料

・BIM とは

Building Information Modeling(ビルディングインフォメーションモデリング)の略。個別の部品、部材や空間情報で構成される 3 次元の建物形状データに、コスト、材料・仕上げ、管理情報などの属性データを追加し、建築物のデータベースを構築し、建築の企画、設計、施工から維持管理までのあらゆるプロセスでそれらの情報を積極的に活用する情報システムのことを指し、建築生産プロセス全般を大きく変革する可能性を有するとされています。

・IDDSとは

Integrated Design and Delivery Solutions の略。

「統合されたデザインと生産ソリューション」という意味であり、国際的に提唱されている新しい概念です。 研究ロードマップHP: http://cibworld.xs4all.nl/dl/publications/pub_373.pdf

今年5月に公表されたロードマップによれば、IDDS は、BIM などの新しい生産プロセスを速やかに採用し、生産的な環境において高度な技能を持っている人々を組織して、絶え間ない改善により、建設部門を変革することをねらいとしています。

BIMなどの共同作業ツールや高度なスキルを使うことで、統合された情報や知識などを使って、構造的な建築生産プロセスの非効率さの最小化を図るとともに、プロジェクトのデザインから施工、管理までに得られる付加価値の増進を目指すものとされています。具体的な成果としては、①建設投資回収の早期化、②生産性向上によるコストダウン、③品質の持続的向上、④CO2削減などサステナブルな社会的効果が示されています。



ユネスコ地震災害の軽減のための 国際プラットフォーム(IPRED) 第6回会合

ユネスコ(UNESCO)地震災害の軽減のための国際プラットフォーム(IPRED)第6回会合が、メンバーである9カ国を集めて、2013年6月4-7日、ペルー共和国リマ市にあるペルー国立工科大学ペルー日本地震防災研究センター(CISMID)で開催されました。

この会合と併せて、公開のUNESCO-IPRED-CISMID国際ワークショップ「私達自身で将来の地震に備える」が、100名を超える建築や防災の専門家・一般市民を集めて開催されました。

これらにより専門家の間での有益な情報交換ができ、またペルーの地震防災に関心のある人達に情報を広めることができました。次回は、エジプトでの開催を予定しています。



*建築・住宅地震防災国際プラットフォーム(IPRED)とは、過去約30年間に(独)建築研究所が協力した国際協力機構(JICA)のプロ技のカウンターパート機関の9ヶ国(チリ・エジプト・エルサルバドル・インドネシア・カザフスタン・メキシコ・ペルー・ルーマニア・トルコ・日本)の研究機関で構成されるUNESCO主催の地震・地震工学分野での共同研究・教育研修の為に国際プラットフォームです。(独)建築研究所が幹事機関を務めています。

2007年 東京
2008年 パリ(フランス)
2009年 イスタンブール(トルコ)
2010年 パダン(インドネシア)
2011年 サンチアゴ(チリ)
2012年 東京
2013年 **リマ(ペルー)**
2014年 カイロ(エジプト)

キックオフミーティング
第1回ミーティング
第2回ミーティング
第3回ミーティング
第4回ミーティング
第5回ミーティング
第6回ミーティング
次回ミーティング